

暴行 (1963)

THE OUTRAGE

メディア 映画

ジャンル ドラマ 犯罪

製作国 アメリカ

色彩 B&W

時間 98分

初公開日 1964/12/26

公開情報 MGM

【解説】

黒澤明監督の「羅生門」のリメイク。映画化にあたり黒澤明と橋本忍の脚本と、マイケルとフェイのカニン夫妻の舞台劇『ラショーモン』の二つの脚本を元に、夫のマイケルが本作用のシナリオを書いた。時代と舞台は、1870年代の南北戦争後の西部に置き換えられているが、ストーリーは忠実に守られている。

駅で、昨日の裁判について3人が語り合っていた。メキシコ人盗賊（ニューマン）が旅の夫婦を襲った事件で、妻（ブルーム）は暴行され、夫（ハーヴェイ）は殺されたのだ。そして、当事者の陳述はいずれも違っていた。盗賊は正当に決闘で夫を殺したと言い、妻は狂乱して夫を殺したと言い、死際の夫にインディアンが聞いたところによると、自殺だという。だが炭鉱夫に言わせればどれも嘘っぱちで、妻にけしかけられて無理矢理決闘した際に、偶然ナイフが刺さったと言う。これを聞いたペテン師は人間は嘘つきだと結論し、牧師は人間不信に陥る……。人間の真実の姿を問いかけるテーマは同じでも、「羅生門」が放つエチゾチックな魅力は影をひそめている。尚、ブルームは59年にブロードウェイの舞台でも妻の役を演じている。

【クレジット】

監督	マーティン・リット	Martin Ritt	
製作	A・ロナルド・ルービン	A.Ronald Rubin	
原作	黒澤明	Akira Kurosawa	
	橋本忍	Shinobu Hashimoto	
原作戯曲	マイケル・ケニン	Michael Kanin	
	フェイ・ケニン	Fay Kanin	
脚本	マイケル・ケニン	Michael Kanin	
撮影	ジェームズ・ウォン・ハウ	James Wong Howe	
編集	フランク・サンティロ	Frank Santillo	
音楽	アレックス・ノース	Alex North	
出演	ポール・ニューマン	Paul Newman	フアン・カラスコ
	ローレンス・ハーヴェイ	Laurence Harvey	夫
	エドワード・G・ロビンソン	Edward G. Robinson	ペテン師
	クレア・ブルーム	Claire Bloom	妻
	ウィリアム・シャトナー	William Shatner	牧師
	ハワード・ダ・シルヴァ	Howard da Silva	探鉱者
	アルバート・サルミ	Albert Salmi	保安官
	トーマス・チャルマーズ	Thomas Chalmers	判事
	ポール・フィックス	Paul Fix	インディアン